

長浜市八雲書院資料調査報告＜瓦編3＞

福井知樹

目次

1. はじめに
2. 採集瓦について
3. 三次元計測の実験的試行
4. おわりにかえて—瓦編総括—

—論文要旨—

「八雲書院」とは、浅井郡田根村大字上野（現長浜市上野町）出身の田中健氏が収集した考古資料一式のことである。同氏は、昭和27年(1952)に収集した資料群を「郷土史研究に役立ててほしい」という思いから、浅井町立浅井中学校（現長浜市立浅井中学校）に寄贈した。寄贈された資料群は「八雲書院」と命名され、浅井中学校から地域資料の魅力を発信していくこととなった。平成6年(1994)に「八雲書院」は浅井中学校から浅井町歴史民俗資料館（現浅井歴史民俗資料館）へ移管された。

「八雲書院」の資料は、浅井中学校や郷土史研究家らによって昭和56年(1981)に整理がされていたが、その時点では資料の欠番が存在していた。また、その後に資料の追加などもあり、寄贈時の目録（『八雲書院蔵品目録』、以下『目録』）と資料内容などの不一致が生じていたことから、再整理を行うこととした。この整理は、現段階における『目録』の作成を目的としている。

田中氏が収集した資料は、滋賀県内だけではなく、京都府、奈良県、大阪府や北海道など広範囲におよび、出土地など当時の情報をほぼ明確に示している。

収集資料のうち、本稿で扱う瓦は、古代寺院や城郭・神社など古代から近世・近代まで幅広い時代のものが採集されている。また、地域としては地元の浅井郡のみならず、田中氏が奉職していた高穴穗神社のある大津市や他府県、中国など幅広い地域におよぶ。

本稿では、収集資料のうち「長浜市八雲書院資料調査報告＜瓦編1＞」（古山・福井2022、以下、「瓦編1」）、「長浜市八雲書院資料調査報告＜瓦編2＞」（福井2023、以下、「瓦編2」）に引き続き、瓦（『目録』のNo.81～120）を中心に整理を行い、その成果について報告する。なお、瓦資料については165点あり、本稿では未報告の59点について報告し、瓦資料の報告を終了する。

また、「瓦編1」、「瓦編2」で報告した軒瓦について、改めて三次元計測を行い、その結果について掲載した。

キーワード

白鳳時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代 安土桃山時代 八雲書院 田中健 丸瓦 平瓦